

かけがえのない我が熊野町の

将来を厳しくチェック!

気になる5件をピックアップ

12月定例会(12月13日開会) 町から報告3件、議案10件、議会から発議1件

ピックアップ①

報告第6号 熊野町立中学校ダムウエーター(給食用リフト)設置工事請負契約の変更
専決処分を行った変更契約の締結について報告を受けました。
平成28年6月議会で承認した「熊野町立中学校ダムウエーター設置工事の請負契約」について、追加工事が必要となり工事請負金額を約130万円増額し、4990万1400円とする変更契約を町長の専決処分により行ったことについて報告を受けました。

議案第49号 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(一部改正)
議案第50号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例(一部改正)
議案第51号 職員の給与に関する条例(一部改正)

ピックアップ②

人事院勧告等に基づき、議員等の期末手当を引上げました。
○ 町議会議員の年間の期末手当を0.1ヶ月引き上げ、325ヶ月としました。
○ この改正により、議員一人当たり約3万2千円増額しました。
○ 常勤の特別職職員(町長・副町長・教育長)の年間の期末手当を0.1ヶ月引き上げ、4.3ヶ月としました。
○ この改正により、支給総額が約25万7千円増額しました。
○ 職員の給料を、若年層を中心に概ね0.2%、年間の勤勉手当を0.1ヶ月引き上げ17ヶ月としました。
○ この改正により及び給料、勤勉手当並びに給料の引き上げに連動して算定される各種手当等を含め約764万円増額しました。
○ 扶養手当制度の見直しでは、配偶者手当額を減額し6500円に、子の手当額を増額し1万円に改正しました。

ピックアップ③

議案第52号 熊野町税条例(一部改正)
医療費控除の特例(スイッチOTTC薬控除)等を追加しました。
○ 特定成分を含んだOTTC医薬品(スイッチOTTC医薬品)の購入費が、総所得金額等から控除できるようになります。
○ 地域決定型地方税制特例措置に電気事業者による再生可能エネルギー発電設備を追加し、風力発電設備等の固定資産税の課税標準を軽減されるように見直されました。

ピックアップ④

議案第53号 熊野町西部地域健康センターの指定管理者の指定
議案第54号 くまの・みらい保育園の指定管理者の指定
2施設の指定管理者が決まりました。
○ 西部地域健康センターの管理運営を、平成21年度から指定している「特定非営利活動法人熊野人材センター」に指定しました。
○ 指定期間は、平成29年4月1日〜平成33年3月31日。
○ くまの・みらい保育園の管理運営を、平成19年度から指定している「社会福祉法人微妙福祉会」に指定しました。
○ 指定期間は、平成29年4月1日〜平成34年3月31日。

ピックアップ⑤

議案第55号 平成28年度熊野町一般会計補正予算(第3号)
歳入・歳出とも7547万1千円を追加し、総額を88億5042万5千円としました。
○ (歳入) 国庫や県の負担金・補助金は増額しました。
○ (歳出) 民生部門の臨時福祉給付金支給事業や、建設部門の道路維持管理事業などの事業費が増額しました。
○ その他、各費目において人件費などの調整をしました。

主な質疑等

ピックアップ①

Q. 設計段階で把握できなかったのか。また、職員が手薄であるなら、非常勤の職員等の配置はできないか。
A. 既存の図面が整理できていなかった面もある。今後、改善していきたい。

※専決処分とは
本来は、議会が議決または決定すべき事項を、特定の場合に限り、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決または決定の前に自ら処理をすること。
※主な専決事項
① 100万円以下の損害賠償を支払い、和解すること。
② 法律上その義務に属する損害賠償で、100万円(交通事故に関するもの)にあつては、自動車損害賠償保障法による保険金額の最高限度額)以下の損害賠償の額を定めること。
③ 議会の議決を得た契約について、その請負金額を変更する場合、変更額が当初請負金額の100分の15以内で、500万円以内の変更契約を締結すること。

ピックアップ③

Q. 平成29年1月1日から平成33年12月31日までに購入したスイッチOTTC医薬品に限り、医療費控除の特例が適用するようだが、町民への周知はどのように行うのか。
A. 町民への周知は、関係団体等の協力を得てパッケージに記載したり、レシートへのマーク記入などがされる予定である。また、町のホームページや関係部門から連絡するなどの方法を検討する。

ピックアップ④

※スイッチOTTC医薬品とは
医師の処方でしか手に入らなかった医薬品のうち、成分の有効性や安全性に問題がないと判断され、薬局で売られるようになった薬。
この2件については、熊野町議会全員協議で協議し、次のような質疑応答をした。
Q. 西部地域健康センターは、建設後15年が経過しているが、老朽化の状況はどうか。
A. 風呂の利用者数を聞きたい。
Q. 老朽化については、部分改修程度で対応している。
風呂は、週3日利用でき、年間の利用者数は約4千人、1日平均25人前後である。

Q. くまの・みらい保育園の指定管理委託料が、毎年、増加している。
A. 本年度決算見込みを見ると、平成24年度に比べ4100万円、前年より1300万円の増額となっているのはなぜか。
A. 子ども・子育て新制度に移行し、保育料の単価が増額したこと。
また、180名の定員を20名〜30名超えて受け入れる体制を整備し、保育していることによるものである。

議会審議

一般質問

議会・委員会活動

くまの町を歩く

議会審議

一般質問

議会・委員会活動

くまの町を歩く